取極の有効期間を延長する議定書◎千九百六十二年十月一日の綿製品の国際貿易に関する

(略称)一九六二年の綿製品国際貿易取極の再延長議定書

附属書Aの改正	第二条3の改正	有効期間の延長	文	目次							
		四〇九		ページ	(外務省告示第二〇八号)	昭和四十六年 十 月二十六日 告示	昭和四十六年 十 月 一 日 力発生	昭和四十六年 十 月 一 日 受諾	昭和四十六年 十 月 一 日 受諾の閣議決定	昭和四十五年 十 月 一 日 効力発生	昭和四十五年 六 月十 五 日 ジュネーヴで作成

前

3 2 1

一九六二年の綿製品国際貿易取極の再延長議定書

末 5

受諾のための開放

四〇八

の改正 第二条3

(訳文

極の有効期間を延長する議定書

千九百六十二年十月一日の綿製品の国際貿易に関する取

加国は、 綿製品の国際貿易に関する取極 (以下「取極」という。)の参

取極第八条回の規定に基づいて行動して、

1 じた議定書によつて延長された取極の有効期間は、さらに三 年の期間、すなわち、千九百七十三年九月三十日まで延長す とこに次のとおり協定する。 第十四条に定められ、千九百六十七年十月一日に効力を生

2 もつとも、全体の増加は、 第二条3の最後の文を終のように改める。 することが窒ましい。 れるべき年間輸入割当てについてできる限り均等に配分 取極の有効期間を通じて適用さ

3 附属書Aを次のように改める。

附属書A

(注)

おりとする。 第二条の規定の適用上、同条3にいり百分率は、次のと

> PROTOCOL EXTENDING THE ARRANGEMENT REGARDING INTERNATIONAL TRADE IN COTTON TEXTILES OF 1 OCTOBER 1962

Arrangement"). Textiles (hereinafter referred to as "the ment Regarding International Trade in Cotton The COUNTRIES PARTICIPATING in the Arrange-

of the Arrangement, ACTING pursuant to paragraph (d) of Article

Ф

HEREBY AGREE as follows:

of three years, i.e. until 30 September 1973 Protocol which entered into force on 1 October set out in Article 14, and extended by a 1967, shall be further extended for a period 1. The period of validity of the Arrangement,

2. The last sentence in paragraph 3 of Article 2 shall be amended to read:

overall increase should be distributed of the Arrangement." to be applied over the period of validity as equally as possible in the annual quotas "It would, however, be desirable that the

Annex A shall be amended to read:

. •

"ANNEX A

referred to in paragraph 3 thereof shall be: For purposes of Article 2 the percentages

cle 4, the European Economic Community holds conclusion of bilateral agreements under Artithe view that the modalities for the imple-Having undertaken to proceed towards the

効力発生

経済共同体による受諾のため、 との議定書は、 ハース ウェーデンにつき I ンマークにつき ウェー トリアにつき - につき 開放しておく。 三三パ 三三パ 三三パー ١ 1 也

めの開放受諾のた

4

の他による受諾のため、開放しておく。この議定書は、 基づいて取極を受諾し又はこれに加入した他の政府の署名そ 取極の参加政府及び取極第十一条の規定に 一〇九パーセント セント セント ント 欧洲

5 を受諾した国について効力を生ずる。その後に受諾した国に ついては、その受諾の日に効力を生ずる。 との議定書は、千九百七十年十月一日に、同日までにこれ

(注) の見解を有している。 協定を締結することに着手したので、第二条の規定を実施 するこの方式は、同共同体については該当しなくなつたと 欧洲経済共同体は、 第四条の規定に基づいて二国間

る英語及びフランス語により、 千九百七十年六月十五日にジュネーヴで、ひとしく正文であ 本書一通を作成した。

> mentation of Article in its case. N are no longer relevant

For For Denmark Austria 209 per cent per cent

For Sweden For Norway per cent" per cent

this Protocol. European Economic Community as such to accept Article II thereof. It shall be open to the Arrangement pursuant to the provisions of governments accepting or acceding to the by signature or otherwise, by governments 4. This Protocol shall be open for acceptance, participating in the Arrangement and by other

force for a country which accepts it on a accepted it by that date. October 1970 for the countries which have 5. This Protocol shall enter into force on 1 later date as of the date of such acceptance. It shall enter into

guages, both texts being authentic. single copy in the English and French one thousand nine hundred and seventy, in a DONE at Geneva this fifteenth day of June

(署名欄省略

末 文 一九六二年の綿製品国際貿易取極の再延長議定書

了するので一九六七年五月一日にジュネーヴで作成された延長議定書(昭和四十二年多数国間条約集貿易の合理的かつ秩序ある発展をはかるため作成されたが、五箇年の有効期間が一九六七年九月末満一九六二年の綿製品の国際貿易に関する長期取極(条約集第一四八六-I号参照)は世界の綿製品 た。本議定書は前記取極をさらに一九七三年九月三十日まで三年間再延長することを定めたものであ ・条約集第一七三五号参照)によつて同取極の有効期間は一九七〇年九月三十日まで三年間延長され